

令和4年9月定例会 一般質問通告事項 9月5日(月)

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

1番 内田 恵三 議員

1. 文化・生涯学習課の組織について
 - (1) 文化・文化財行政の後退ではないのか
2. 市史編纂について
 - (1) 合併後の新市史編纂はしないのか
 - (2) 周辺市町村の状況は
3. 県史跡「女男石護岸施設」について
 - (1) 管理と残地活用について
4. 秋月藩成立400年について
 - (1) 記念事業の計画はないのか
5. 古心寺について
 - (1) 黒田家墓所の歴史的価値と整備について
6. 秋月街道について
 - (1) 歴史の道百選に指定された街道の石畳の調査保全について
7. 朝倉市の中世山城について
 - (1) 中世山城の破壊を防ぐための包蔵地登録について

2番 加藤 正二 議員

1. 筑後川水系河川整備計画について
 - (1) 桂川改修工事の進捗と見通しについて
 - (2) 佐田川の河川整備計画について
 - ① パブリックコメントとその反映について
 - ② 長田川の排水について
 - ③ 河道掘削について
 - (3) 筑後川本川の河川水位について

～ 昼 食 ～

3番 徳永 秀俊 議員

1. 移住、定住の促進について
 - (1) 人口推移について
 - ① 合併から現在までの年齢別人口及び2045年までの予想人口の推移は
 - (2) これまでの取組と改善点について
 - ① 空き家バンクの活性化について
 - ② 移住支援金について
 - ③ お試し居住ハウスの運用について
 - ④ 情報発信力の強化について
 - (3) 今後の施策について
 - ① 現在住んでいる人に住み続けてもらうために「子育て世代応援住宅資金」を大胆に考える
 - ② 若い方が農業をするために移住してくるような施策に力を入れられないか

③ 移住、定住に特化した課を設けて、戦略的に取り組めないか

2. 带状疱疹予防ワクチンの公費助成を導入できないか

- (1) 50代以降3人に1人がかかる带状疱疹の予防について
 - ① 国保負担を減らすためにも有効ではないか
 - (2) 他自治体の状況

4番 仲山 寛 議員

1. 朝倉市のコロナの現状と対策について

- (1) コロナの現状について
- (2) ワクチン接種状況について
- (3) 今後の対策について

2. 朝倉市の農林行政施策について

- (1) コロナ禍における農業情勢について
 - ① 朝倉市の農業の現状について
 - 1) 米の生産状況と自給率について
 - 2) 高騰する肥料・農薬等について
 - (2) 人・農地プランについて
 - ① 農業経営基盤強化促進法の改正に伴う人・農地プランについて

3. 過疎対策について

- (1) 過疎地域へのインフラ整備について
 - ① 過疎地域の問題点
 - ② 過疎地域の将来像

5番 柴山 恭子 議員

1. 新生児聴覚検査について
2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について
3. 平塚川添遺跡公園活性化について
 - (1) 関係人口の増やし方は
4. アスベスト対応と住民周知について
5. 環境センターへの道路について

令和4年9月定例会 一般質問通告事項 9月6日(火)

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め1時間で、午前10時から始まります。

6番 熊本 正博 議員

1. ダム群連携事業と水源地行政の課題

- (1) ダム群連携事業についての朝倉市の考え方について
 - ① ダム群連携事業とはどのような事業か
 - ② 朝倉市の判断に至る経過と今後の予定
 - ③ 朝倉市から見た事業効果について
- (2) 寺内ダム再生事業について
 - ① 寺内ダム再生事業とはどのような事業か
 - ② 寺内ダム貯水池に流入した災害土砂撤去が計画に入っていないことに対する朝倉市の認識について
- (3) 水源地行政としての課題について
 - ① 朝倉市が果たしている貢献について
 - ② 事業による評価と課題について

7番 大庭 きみ子 議員

1. 職員の人材確保と人材育成について

- (1) 誰もが働きたい 働きやすい職場づくり
 - ① 若手職員の人材育成について
 - ② 人材育成のための仕組みづくり
 - ③ 社会人経験がある採用者への研修

2. 地域おこし協力隊の活動とその効果について

- (1) これまでの活動実績と効果について
- (2) 今後の取組について
- (3) 協力隊の定住・定着への促進を

～ 昼 食 ～

8番 中島 秀樹 議員

1. 朝倉市が発展するために何をしたらいいのか

- (1) 良質な住環境を整える
- (2) 職員の人材育成が必要である
- (3) 財政マネジメントは行われているか
- (4) 業務改革と技術の活用は行われているか